

山 行 報 告 書

山行報告提出者 : 鈴木 聖

山 域・山 名： 月 山 (1,984m)		(山形県鶴岡市)
入山日： 令和2年10月18日 (日) 前夜行日帰り		
プラン担当者 正：鈴木 副：		月山神社 (山頂)
参 加 者	L：報：記： 鈴木	
	男 1名、女 名、計 1名	
天候：曇りのち晴れ		
10月17日 (土)	22：30 竹橋発 毎日アルペン号登山バス出発 月山姥沢登山口へ	
10月18日 (日)	5：00 姥沢着 5：30 発-7：00 牛首下-7：30 牛首-8：00 月山 8：30 -9：15 牛首-10：30 姥沢下山 13：30 発毎日アルペン号登山バスにて東京駅へ 22：15 着 行動 5h00m	
荒天候時のエスケープルート： 引き返す		
装 備 と 食 糧	共同装備：無し 車提供者：無し	
	個人装備： ヘッドランプ、雨具、傘、防寒具、コンパス、地図、ストック、グローブ、 スパッツ、テルモス(水)、帽子、お風呂セット、夜行バス用空気枕、 チェーンスパイク 個人食： 行動食、昼食	
感 想	<p>今回も go to トラベルの恩恵に預かりクーポン含め半額の割引を甘受できた。 バスは予定より早く5：00に到着、まだ暗いがヘッドランプ装着し出発。前半の登山路のほとんどが木道で歩きやすいはずだが、早朝の冷え込みで霜が降りつるつるで甚だ歩きにくい。ツアーバスの一行約80名が数珠つなぎに歩いていたが、まだ薄暗い斜面のあちこちで悲鳴がこだました。後半は石ごろの急登があらわれるが山頂に到着。そこは月山神社の敷地そのもので、やっとピークに着いたという実感が湧いてこない。登山中晴れていた天候も頂上では歓迎のガスが現れ視界不良。30分ほど待機していたが好転しないため下山した。これを見透かすように下山中には青空が広がり始め、いつもの現象だよと一人苦笑する。ただ、枯草の黄金色と熊笹の深緑色が織りなすコントラストやピークを過ぎたとはいえ紅葉のパノラマをたっぷり堪能できた。帰路はバス出発まで時間が有り余っているためリフトを使わず登った道を下山した。今回初めての大失態、行動食含め食料をすべて自宅に置き忘れ、固形物摂取ができたのは15：00頃。バスの短い休憩時間での慌しい遅い朝食ではあったがおいしかったなあ。</p>	